

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公開番号】特開2012-199223(P2012-199223A)  
 【公開日】平成24年10月18日(2012.10.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-042  
 【出願番号】特願2012-1181(P2012-1181)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/11 (2006.01)

H 0 1 B 7/10 (2006.01)

H 0 1 R 13/52 (2006.01)

H 0 1 B 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/11 3 0 1 Z

H 0 1 B 7/10

H 0 1 R 13/52 3 0 1 E

H 0 1 B 7/00 3 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月6日(2015.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可撓性の絶縁材料から形成された、内面を有する管状本体と、  
複数の配線の各々が前記管状本体に沿って延在し、前記複数の配線の各々の少なくとも一部が前記管状本体の前記内面で露出するように、前記管状本体内に一部が埋め込まれ固定された複数の配線と、を備え、  
 前記管状本体の前記内面の少なくとも一部と、前記複数の配線の各々の少なくとも前記露出した部分とが通路を形成する、電気接点。

【請求項2】

前記通路は導電性構造体を収容するように構成され、前記導電性構造体が前記通路に挿入されたときに、前記複数の配線の各々は前記導電性構造体と電氣的に接続するように構成されている、請求項1に記載の電気接点。

【請求項3】

前記複数の配線の各々の大部分が前記管状本体に埋め込まれている、請求項1に記載の電気接点。

【請求項4】

前記複数の配線は、網状、十字、らせん、メッシュ、または略直線構造に形成されている、請求項1に記載の電気接点。

【請求項5】

前記通路は前記管状本体の全長に沿って延在している、請求項1に記載の電気接点。

【請求項6】

前記可撓性の絶縁材料は、高分子材料またはエラストマ材料の少なくともいずれかを含む、請求項1に記載の電気接点。

【請求項7】

前記複数の配線の各々は導電体から形成されている、請求項 1 に記載の電気接点。

【請求項 8】

前記複数の配線は前記管状本体の外面に露出していない、請求項 1 に記載の電気接点。

【請求項 9】

前記管状本体は押し出し成形により形成されている、請求項 1 に記載の電気接点。

【請求項 10】

前記複数の配線は前記管状本体の内面に一部が埋め込まれている、請求項 1 に記載の電気接点。

【請求項 11】

高分子材料またはエラストマ材料の少なくともいずれかから形成され、内面を有する管状本体と、少なくとも 1 つの配線の少なくとも一部が前記管状本体の前記内面で露出するように、前記管状本体内に一部が埋め込まれた少なくとも 1 つの配線と、を備えている電気接点と、

前記電気接点の前記少なくとも 1 つの配線に取り付けられた導電性部と、別の電気コネクタの導電性構造体を収容し、前記別の電気コネクタと前記電気接点とを電氣的に接続するように構成されている空洞と、を備えている末端装置であって、前記電気接点と電氣的に接続するように構成されている末端装置と、を備え、

前記管状本体の前記内面の少なくとも一部と、前記少なくとも 1 つの配線の少なくとも露出した部分とが通路を形成する、電気コネクタ。

【請求項 12】

複数の空洞を含むハウジングをさらに備え、前記電気接点は、複数の電気接点の 1 つであり、前記複数の電気接点の 1 つは前記ハウジングの前記空洞の各々に備えられている、請求項 11 に記載の電気コネクタ。

【請求項 13】

少なくとも 1 つの空洞を含むハウジングをさらに備え、

前記電気接点は前記ハウジングの前記少なくとも 1 つの空洞内に少なくとも一部が配置され、

前記電気接点の前記通路は前記末端装置を収容するように構成され、

前記末端装置が前記電気接点の前記通路内に収容されたときに、前記少なくとも 1 つの配線は前記末端装置と電氣的に接続するように構成されている、請求項 11 に記載の電気コネクタ。

【請求項 14】

前記高分子材料またはエラストマ材料の少なくともいずれかが可撓性の絶縁材料である、請求項 11 に記載の電気コネクタ。

【請求項 15】

前記末端装置はピンを含む、請求項 11 に記載の電気コネクタ。

【請求項 16】

高分子材料またはエラストマ材料の少なくともいずれかから形成され、内面を有する管状本体と、少なくとも 1 つの配線の少なくとも一部が前記管状本体の前記内面で露出するように、前記管状本体内に一部が埋め込まれた少なくとも 1 つの配線とを備えている電気接点であって、

前記管状本体の前記内面の少なくとも一部と、前記少なくとも 1 つの配線の少なくとも露出した部分とが通路を形成し、前記電気接点の前記通路は導電性構造体を収容するように構成され、前記導電性構造体が前記電気接点の前記通路に収容されたときに、前記少なくとも 1 つの配線は前記導電性構造体と電氣的に接続するように構成されている電気接点と、

少なくとも 1 つの空洞を含むハウジングであって、前記電気接点が前記ハウジングの前記少なくとも 1 つの空洞の一部に備えられ、前記ハウジング内の前記少なくとも 1 つの空洞はレセプタクル部と接続するハウジングと、

前記レセプタクル部および前記少なくとも 1 つの空洞内の少なくとも一部に挿入された

ガスケットであって、前記導電性構造体の少なくとも一部を前記ガスケットに挿入し、前記導電性構造体と前記ハウジングとの間の密閉部材を形成するガスケットと、を備えている、電気コネクタ。

【請求項 17】

電気接点を形成するように、管状本体内に一部が埋め込まれた少なくとも1つの配線を形成する工程であって、前記管状本体は可撓性の絶縁材料から形成され、前記少なくとも1つの配線は導電体から形成され、前記管状本体は内面を含み、前記少なくとも1つの配線の少なくとも一部は前記管状本体の前記内面で露出し、前記管状本体の前記内面の少なくとも一部と、前記少なくとも1つの配線の少なくとも前記露出した部分とが通路を形成する工程と、

末端装置を前記電気接点と電氣的に接続するように、前記少なくとも1つの配線に前記末端装置の導電性部を取り付ける工程と、

別の電気コネクタと前記電気接点とを電氣的に接続するように、前記末端装置の空洞に前記別の電気コネクタの導電性構造体を挿入する工程と、を含む、電気コネクタを形成する方法。

【請求項 18】

前記管状本体内に一部が埋め込まれた少なくとも1つの配線を形成する工程は、前記管状本体に一部が埋め込まれた前記少なくとも1つの配線と共に、連続する長さの前記管状本体を形成する工程を含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記電気接点を形成するように、前記連続する長さの前記管状本体から所望の長さを切り取る工程をさらに含み、前記電気接点は途切れのない請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記電気接点と前記末端装置とを電氣的に接続するように、前記末端装置の導電性部を前記電気接点の前記通路に挿入する工程をさらに含み、請求項 19 に記載の方法。